

写真で見る浪曲人生

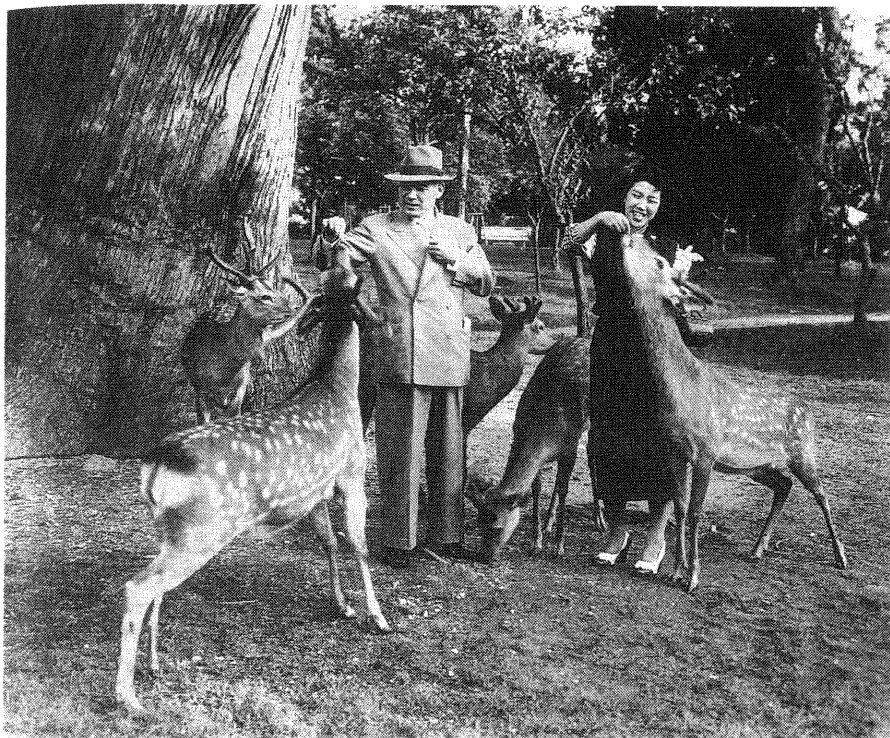
春日井梅鶯

第四回

「旅先での人との出会い、
食事、出方さんの話が成長の糧でした」



文・おさだ衛

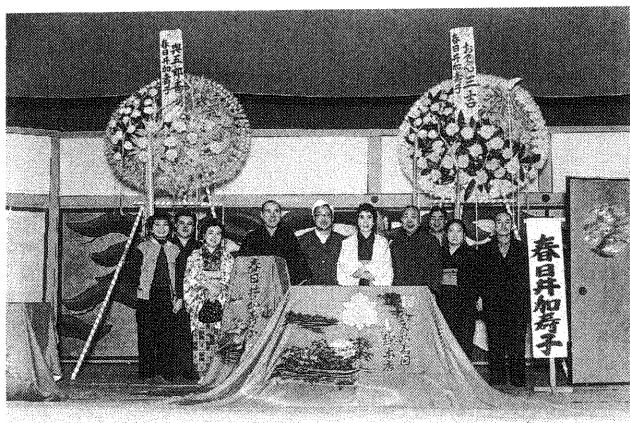


かすがい・ばいおう 本名・安藤和子。昭和2年9月2日生まれ。父の初代春日井梅鶯の浪曲に感動し、父に入門。昭和26年、春日井加寿子(かずこ)としてデビュー。昭和50年、二代目梅鶯を襲名。現在、日本浪曲協会の副会長。写真は昭和28年、奈良の春日神社。「父はダンディでした。この洋服も服地は英国製です。父はこのとき、写真の左の大木になぞらえて私に、さきざき根を張った大木になれと励ましてくれました」

旅は憂いもの、つらいもの。芸人と旅は切っても切れない深い仲だ。全国津々浦々を地方巡業した梅鶯師に旅のあれこれを聞いた。

「昭和28年から41年までの13年間、父との二枚看板で日本中をまわりましたよ。その頃は12月の25日に翌年のスケジュールがすべて決まってしまうんです。全国の興行主が父と相談して日程を固めるんです。」

正月は三日までがお休みで4日か



昭和27年、仙台。当時の加寿子師の両どなりがテーブル掛けと花輪を送ってくれたご鼻唄。「地方まわりでたくさんの方との出会いがありました。芸人はおおぜいの人会うべきだと思います」

らは旅興行です。1月は千葉県(藤原興行)から静岡県(加藤興業)へ、2月はラジオとレコードの録音、3月4月と北海道(伊能興行)、青森県と岩手県(丸唐興行)、秋田県(永井興業)、山形県(辻興行)。5月から6月にかけて新潟県(シバタ興行)、会津長谷川興行、茨城県(丸唐興行)。7月は愛知・岐阜・三重県(岡崎興行)。8月はレコードの吹き込みとやっと取れる暑中休暇です。

9月は岡山県、広島県、山口を経て四国です(岡山山の三木興行)。10月から九州全土(新谷興行)。11月は北陸に行つて富山県、石川県、福井県(山橋興行)その後、長野県内を巡つて大晦日に帰宅という一年が13年間、続きました。不思議と大阪の興行はなかったですね。

旅というと思ひ出すのは北海道ですね。馬櫓(ばそり)で私たちを迎えに来るんです。私はこの馬櫓が苦手で、そり酔いとはいませんが、すぐ気分が悪くなりました。礼文島から利尻に渡る途中で台風に襲われたことがあります。次の巡業地の網走まで大嵐のなかを漁船で波にもまれて命がけで漕ぎ着きました。今でも冷や汗がでますよ。

デビューした頃の頃、千葉県の浦安でした。演っている最中に漁師のおばさんが履いている下駄を叩いて、へたくそやめろと舞台上が上がってきて幕を閉めてしまいました。楽屋に戻つてめそめそ泣いていたら、席亭に慰められ

ました。(浪花亭綾太郎も木村重友も同じようにケラレたんだよ、あんたもがんばれよと。

泣くといえ、巡業先で拍手が来ないと私が楽屋でベソベソ泣いていると、先代に拍手が来なくても客は満足していることもある、その土地土地の人氣(じんき)を知りことも芸道修行だと慰められました。

青森でした。ドジなやくざが楽屋に来て先代に仁義を切るんです。先代の「赤城の子守唄」がヒットしたことが元なんでしょう。父はおれはそういう付き合いはしないんだと、うんざりした顔で追い帰しましたよ。

父は篤志家でもありません。刑務所の慰問は頼まれたら必ず引き受けまし



昭和50年、北海道で。「北海道は先代にとっては第二の故郷です。巡業先に臨時列車が出たくらいの人氣でした。私も先代のおかげで、厚遇してもらいました」

た。九州が多かったですね。受刑者の更正に役立ちたい気持ちでした。仙台で刑務所慰問をした翌年、私の楽屋に「刑務所で浪曲を聞いて感動した」といって、更正した人が尋ねてきて私ももらい涙を流しました。ハンセン氏病患者の慰問も、たびたびありました。興行師の依頼で父は快諾しました。患者さんたちも大変、喜んでいました。旅という食事です。私は好き嫌いが多くて納豆も食べられません。北海道の留萌では白子が入った二



梅鶯一行は舞台の後半は歌謡ショー。右が曲師の松下信太郎。その左がメガネを掛けた先代。夏はアロハシャツ、冬は真っ赤なジャケットで登場した。

シンが苦手で先代には、なんでも食べないと芸も上達しないと叱られましたよ。ドジョウもだめでした。奈良に1か月、仕事で行ったとき、やせっぽちの曲師がドジョウを食べていたら丸々と太ってきて驚きましたよ。

困ったのは猥談でした。楽屋では父が出かけると出方さんが私が聞いているのを承知で濃厚な猥談をするんです。私が顔を赤らめるのを面白がっていました。「お嬢さんは恋愛をしないから芸が堅い。こんな話を聞いてお色気を出さないよ」なんて。私への教育のつもりだったんでしょね」

(以下、次号)



昭和45年、四国の浪曲大会で真山一郎と一真山先生もい方です。会うといつも芸の話です。声が良くて近代的で、一時代を築かれた方です」

浪曲…これほどすばらしい芸は他にはないと思

います。

浪曲家の皆さん…頑張ってください。

多くのファンを楽しませて下さい。

50/52

新小岩 坂本病院 院長 坂本 豊 吉